

No.350

2023. 9月号

総合病院
水島協同病院
倉敷市水島南春日町1-1
代表 086-444-3211
外来 086-444-1222



水島協同病院 だより

〔病院理念〕 いつでも、だれもが、安心してかかる医療を追求します。

水協のホームページもご覧ください
<https://www.mizukyo.jp>

タンパク質をちょい足し



多忙な方におすすめ

フレイルとは、健康な状態と介護が必要となる状態の中間のことをいいます。フレイル予防には筋肉を減らさないことが重要で、そのためには食事と運動双方からアプローチすることが有効とされています。

歯科検診を受けてお口の健康を保つこと
嚥む力、飲み込む力の維持のため、

体重が減ってきた。食べられる回数が減っていませんか。食事で大切なのは栄養不足によって起きる痩せや低栄養を防ぐことです。低栄養対策にはエネルギー源となる糖質や脂質を摂ること、筋肉の素となるタンパク質を十分に取り入れることです。ご飯に漬物、菓子パン、素麺やうどんのみで食事を済ませることが多い方はリスクかもしれません。1回の食事ごとにタンパク質が不足しフレイルリスクとなっているかもしれません。1回の食事ごとにタンパク質を“ちょい足し”しましょう。

少ない方は食事の回数を増やしたり、プリンやヨーグルトなどタンパク質が摂れる間食を取り入れることもおすすめです。

忙しい方、料理が難しい方は電子レンジや冷凍食品、長期保存ができる缶詰やレトルト食品を活用することで栄養バランスの良い食事を簡単に作る工夫もあります。まだだ暑い日が続きますが、ただければと思います。

（栄養科 仲田海加）

※食事指導を受けている方は医師や管理栄養士の指示に従ってください。

いつもの食事にちょい足しの工夫で フレイル予防

今回はフレイル予防に大事な「栄養と食事」について紹介します。



7月22日(土)、「国民平和大行進」が水島入りしました。午前10時より水島支所で開催された出発集会には80名を超える人々が参加。当院の職員も多数参加し、職員有志で作成した千羽鶴を、行進団の代表に手渡しました。また、午後12時半過ぎからは、当院前の交差点でスタンディング行動が行われ、職員が多数参加しました。参加した職員は「沿道のみなさんの反応がとても良かった。今後も核兵器廃絶をしっかりアピールしていきたい」と話していました。

(社保・平和委員会)



荒井啓暢医師が着任しました



泌尿器科 外来案内／午前9時～月・火・木・金 午後5時～火

7月より矢野敏史先生の後任として水島協同病院に赴任しました荒井啓暢と申します。私の前任地はオリーブや素麺、醤油が特産の小豆島でした。小豆島から倉敷に来て、倉敷の街の大きさを実感しております。

小豆島は高齢化率が4割を超えており、全国平均と同様に高齢化が進んだ地域でした。

程度の倉敷よりもはるかに倉敷もこれから高齢化率の増加が予想されており、倉敷の将来を経験してきたところから、高齢化率の高い倉敷に適した治療を行っています。

のライフスタイルや希望に添った治療を行ふことを目標に診療してまいります。

頻尿、失禁、排尿困難など受診をためらわれる方も多くいらっしゃいますが、高齢化に伴い尿のトラブルで悩まれている方は多くなってきています。

患者さんのお役に立てるような診療を心がけておりますので、お困りの方はぜひ

こまめな水分補給と休息、積極的にエアコンも使用して、熱中症対策